

事業No.	6	事業名	栄養士の統合		担当課	学校教育課	
仕分け結果							
廃止		民営化		市(要改善)	2	市(現行どおり)	5
主な意見(委員)							
<p>【市(現行どおり)】— 多数意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の内容を考えても現行どおりがよく、子供たちのためにも自校方式がよい。 ・自校方式を継続させる限りは現状のままがよい。統合以前の問題よりも栄養士の事務量が多いことを改善するべきである。市の他部署と話し合い、業務量を減らすことが必要。 ・拡大が必要だと思うが市の財政を考えると現行どおり。子供の命に係わる仕事なので栄養士にはかなりの負担と責任が生じる。仕事の効率化を考えてもこの仕事には限界がある。アレルギー対応にも時間がかかってしまう。もし市が統合を決断したら市はかなりの責任を負うことを覚悟しなければならない。 ・この議論は自校方式か親子方式かを検討した後にするべきものである。地産地消を推進することによる納品チェックなどは業者に委託するなどし、労力の懸念を考えてもいいのではないかと。情報の共有を活用してほしい。 ・児童数の多い少ないで考えるのではなく、まずは食の安全を第一優先で進めてほしい。栄養士間のネットワークを活用し、子供の安全安心を第一に考えてほしい。仕事の多忙は、調理師や先生などとコミュニケーションをとって頑張ってもらいたい。 <p>【市(要改善)】— 少数意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子方式の方向性もわからない中ではわからない事が多い。子供たちの安心安全でおいしいものを供給するというところに立ち返りどのようなやり方がいいのかを検討してほしい。現場の実態やトラブルなどを踏まえ平常時だけでなく、非常時の体制も検討してほしい。 ・抜本的な見直しが必要。調理方式が検討中の中、切り離して栄養士の配置を考えることは困難であるが、同時進行で業務の縮減を考えるべき。栄養士の思いはよくわかるが、行政職員である以上、効率的な運営も考えるべきで事務改善もしてほしい。献立アプリを導入するなどして、新しい課題がどんどん出てきているので、その対応に充てるためにも事務改善は常に考えていってほしい。 <p>【参考意見(当日出席できなかった委員)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全管理や衛生管理は今後も重要になることを考えると、専門職に期待される役割(教育・指導も含めて)はますます大きくなると思われる。期待される役割とともに負担の増大が見込まれるとすれば、人員の統合・縮小については慎重に考えるべきだろう。もちろん職務内容の合理化など改善すべき点はあるかもしれないが、むしろ配置された専門職をより積極的に活用するための学校の課題を検討してはどうか。 							
傍聴者の意見等							
<p>【傍聴者の意見・発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校方式を貫いてきた我孫子市は素晴らしい。命を守る栄養士を全校に配置することを続けてほしい。 ・我孫子市の給食は自校方式で全校に栄養士を配置していることで安心しておいしい給食を提供されてきた。アレルギー対応は保護者と個々に面接をして行っているが、自校方式でないといけないと思う。ぜひ自校方式と栄養士の全校配置を続けてほしい。教育の一環なので、事業仕分けの対象とするのは難しいのではないかと。 ・季節感のある行事に合わせた献立はとても素晴らしい。業務量改善の取組も行っている。素晴らしい栄養士を各学校に配置しているこの体制を続けてほしい。 							
市の方針							
対応方針	検討内容						
現行どおり	<p>学校給食調理方式の検討に合わせ、安全でおいしい給食を提供できるよう、栄養士の配置を検討していきますが、当面は給食施設ごとに1名の栄養士の配置を継続します。</p> <p>また、献立の共有などの効率化や工夫などの事務改善は行っていきます。</p> <p>職務内容における具体的な効率化を図る方法は、次の内容が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP更新業務をICT支援員に依頼するなど校内や学校間の応援体制を確立する。 ・給食管理ソフトの機能を最大限活用した業務負担の軽減を目指し、栄養士会の中で検討していく。 ・食育関連業務について、モデル的指導案を作成し、少しのアレンジで利用できるようにする。 また、教材やワークシートの共有化を図り、作成業務の縮減に繋げる。 ・調理業務指示書、検収簿等の関連帳票の見直しや統合により事務作業を減らす。 						